

職員

TOPICS
3 ペガサスグループ
職員スキー旅行毎年恒例のスキーツアーを
開催しました。

ペガサスグループでは、令和2年2月15日から1泊2日で、職員とその家族を対象にしたスキーツアーを開催しました。今年は、暖冬の影響が心配されましたが、会場となるハチ高原スキー場にも降雪があり、予定通り実施できました。

今回の参加者は、法人の職員やその家族、計18名です。当日は、病院周辺に集合し、バスで移動。現地では、スキーに食事に温泉にと、それぞれ思い思いの時間を過ごしまし



真っ白な雪が気持ちいい!



職員スキー旅行の様子

た。参加者からは、「鍋を囲んだ夕食会などで、部署の垣根を越えた交流ができた」「スキーは初めてだったが、仲間に教えてもらい立てるようになった」などのコメントが寄せられました。



たっぷり滑ったあとはみんなで鍋を囲んで乾杯!

地域連携・職員

TOPICS
4 ペガサスグループ
接遇研修会グループ内のそして地域の
接遇改善に取り組んでいます。

患者さまに対する接遇力を高めるための取り組みとして、ペガサスでは年に1回、〈接遇研修会〉を行っています。この研修会は、外部から専門の講師を招き、接遇に関する講義

やトレーニングを行うもの。グループ内の職員だけでなく、地域の診療所にも広く開放し、実施しています。最近の研修では、株式会社営業会議の野口明美氏から、場面に合った敬語の使い方や、電話・窓口を想定した実践実習などをご指導いただきました。患者さまが満足できるサービスをめざして、ペガサスはこれからも取り組み続けます。



野口明美氏を招き開催された接遇研修会

ペガサス健診センターの
ご案内

ペガサス健診センターは、最新鋭の医療機器を使用し、適切な診断を提供しています。
一般健診・企業健診、人間ドックなど、多彩なメニューからお選びいただけます。
お問い合わせ／072-265-6006



ペガサス地域包括ケアセンター

場所：馬場記念病院 総合案内横
時間：平日9時30分～12時まで
健康のことから在宅介護まで。多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ／TEL:072-265-5558 (担当 齋藤)

「なんでも相談」
窓口あります

ペガサスグループ
株式会社ユニコ

取り扱う紙おむつは148種類。大幅な値下げも実施中です。



●お問い合わせ
TEL:0120-062-505

私たちと一緒に働きましょう。 随時受付
しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃 D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089

社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

ペガサスマンモサnder

開催予定

【開催日】(予定)

4月5日(日)

5月10日(日)

【開催時間】

9時～17時

【お問合せ】

TEL:072-265-6006
(ペガサス健診センター)

PEGASUS
NEWS

ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集/ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力/HIPコーポレーション
発行/令和2年4月8日

Vol.90

ペガサスから地域の皆さまへ

ペガサスは、登録医の先生方との連携を強化し、
地域医療機能のさらなる向上をめざし続けます。

社会医療法人ペガサスでは、地域医療のさらなる充実に向けて、連携する登録医の先生方と、定期的に勉強会や集会を開催しています。令和2年2月1日には〈第61回社会医療法人ペガサス馬場記念病院勉強会〉と〈第21回登録医集会〉を、ホテル・アゴラ リージェンシー堺にて行いました。今回の勉強会では、馬場記念病院の4人の医師が登場。講演内容は、それぞれの専門領域における最新の医学情報や診療科の取り組みです。まず、最初の講演では、整形外科副部長の福田誠が、肩関節から指先までの上肢を対象に、マレット指や骨折など、頻出する疾患の病態や治療上の注意点を講演。2番目には西尾俊嗣副院長から、脳血管障害と大腿骨頸部骨折における地域連携パスに関する運用の現状が報告されました。また、3番目の講演では、糖尿病科部長の嶺尾郁夫が、糖尿病診療の最新の動向や、患者さまの状態に合わせた投薬などについてご説明。続く最後の講演では、〈脳卒中セミナー〉として、脳神経外科部長の金本幸秀から、脳卒中の予防・再発予防における栄養学の意義

(詳しくは、2ページ参照)についてお話しいたしました。

勉強会後に開催された、登録医集会では、社会医療法人ペガサス理事長の馬場武彦と馬場記念病院事務部長の田中恭子から、ペガサスの取り組みに対するご報告と各診療科部長の紹介を実施。集会後には懇親会も行われ、日頃お世話になっている登録医の先生方との連携を深める貴重な時間となりました。ペガサスでは、これからも、登録医の先生方との関係を強化し、皆さまの暮らす地域の医療機能をさらに高めていきたいと思ひます。

＜講演＞

「日常診療で遭遇しやすい上肢傷病の診断と治療」

……………整形外科 福田 誠

「堺市医師会地域連携パス協議会」……リハビリテーション科 西尾俊嗣

「糖尿病診療最前線2020:ガイドラインを紐解きながら」

……………糖尿病内科 嶺尾郁夫

＜脳卒中セミナー＞

「脳卒中予防 手術と科学に基づく栄養の観点から」

……………脳神経外科 金本幸秀

ご参加いただき
ありがとう
ございました。



社会医療法人ペガサス理事長 馬場武彦



馬場記念病院 整形外科 副部長 福田誠



馬場記念病院 副院長 西尾俊嗣



馬場記念病院 糖尿病科 部長 嶺尾郁夫



馬場記念病院 脳神経外科 部長 金本幸秀

地域連携

登録医向けの勉強会で脳卒中セミナーを実施。脳卒中の再発予防を〈栄養〉から考える。

前ページでもご紹介したように、第61回社会医療法人ベガサス馬場記念病院勉強会において、馬場記念病院脳神経外科部長の金本幸秀が脳卒中セミナーを開催しました。テーマは「脳卒中予防 手術と科学に基づく栄養の観点から」。今回は、金本医師にインタビューを行い、講演内容の中から、特に栄養学と脳卒中予防の関係を中心に、お話を聞きました。

profile **金本 幸秀**

馬場記念病院 脳神経外科部長、日本脳神経外科学会 指導医、日本脳卒中外科学会 指導医、近畿脳神経外科学会 評議員、日本脳神経外科コンgres、日本脳神経血管内治療学会



手術や薬で治療を行うだけでなく、〈科学的な栄養管理〉が大切。

●講演の概要を教えてください。

今回の講演では、脳卒中予防として行う、内頸動脈内膜剝離術や脳動脈瘤クリッピング術といった治療法の解説だけでなく、再発予防における「科学に基づく栄養学」の役割についてお話ししました。

●栄養学を重視されたのはなぜですか。

脳卒中の治療において、私たち脳神経外科医師が積極的治療を行えるケースは、患者さま全体の1割程度に過ぎません。残りの患者さまには対症療法を施し、服薬とリハビリテーションを続けているのが現状です。同時に、脳卒中は再発率の高い疾患でもあります。私は、薬を中心とした従来の治療だけに目を向けるのではなく、より根本的かつ科学的なアプローチとして、栄養学の重要性を意識するようになりました。

●栄養と健康はどのように関係しますか。

人体では、体の状態を一定に保つため、毎日約3,000億個の細胞が入れ替わります。その際には、物質を分解してエネルギーを作り、エネルギーを使って物質を合成する〈代謝〉という現象が起こります。この代謝が滞りなく続くことで、人は健康を維持しているのです。ただし、代謝に

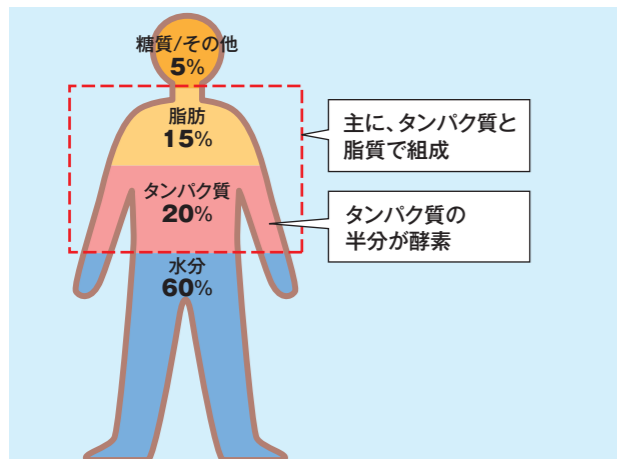
は素材となる栄養素が必要です。特に、人体の主成分であるタンパク質や脂質は重要で、これらが不足すると体内にある素材を再利用することになります。しかし、再利用を経たタンパク質は変形する場合があります、変形したタンパク質が体を構成することで、動脈硬化など多様な病気に繋がるのです。この他にも、エネルギー生成に必要な鉄分の不足はうつ病などを引き起こすこともあり、栄養と健康には深い関係があります。

●脳卒中の再発予防との関係はいかがですか。

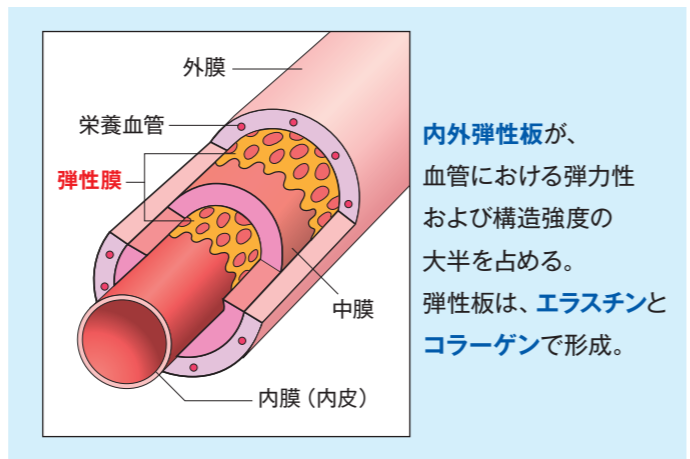
脳卒中の再発予防の面でも、栄養学的な視点が不可欠です。たとえば、血管の弾力性を左右する弾性板を強くするには、原料であるタンパク質やビタミンの摂取が欠かせません。また、血栓予防には、体内の糖や活性酸素を少なくすることも重要です。そのため、単に手術や薬で治療を行うだけでなく、栄養摂取を科学的観点から見直すことが大切なのです。

●最後に、メッセージをお願いします。

日本は飽食の国と言われますが、実は栄養に対する意識は低く、多くの人が必要な栄養素を十分に摂れていません。私たちも、より科学的な医療に努めていきますので、皆さまもご自身の栄養状態に関心を持っていただければと思います。



体の組成



動脈の構造

地域連携

TOPICS **1** **ペガサスロイヤルリゾート おしるこの会、泉大津高校吹奏楽部演奏会**

ご入居者や地域の皆さまに向け、多様なイベントを開催しています。

サービス付き高齢者向け住宅ペガサスロイヤルリゾートでは、ご入居者や入居を検討中の方、地域の皆さまを対象に、さまざまなイベントを開催しています。今回はその中から、令和2年1月に開催したイベントをご紹介します。

●おしるこの会

まずは、令和2年1月6日に開催された〈おしるこの会〉です。ペガサスロイヤルリゾートでは、毎年同時期に鏡開きを行ってきましたが、今年はイベント内容を一新。〈おしるこの会〉と銘打ち、鏡開きとともに、ご入居者や入居を検討されている皆さまに、おしるこを振る舞いました。今回の参加者は約45名。飲み込みやすく加工されたお餅入りのおしるこを食べながら、会話も弾み、和気あいあいと過ごしている姿が印象的でした。

●泉大津高校吹奏楽部演奏会

続く1月12日に開催されたのが、泉大津高校吹奏楽部による演奏会です。このイベントは、ペガサスロイヤルリゾートに入居されている吹奏楽部の顧問だった先生を励ますために、生徒の皆さまからの発案により実現しました。



泉大津高校吹奏楽部演奏会の様子

演奏会の冒頭では、吹奏楽部員が来場者の皆さまにその趣旨を説明。引き続き、顧問だった先生のお兄さまの指揮のもと、生徒たちがこの日のために練習した懐かしのメドレーなどを披露しました。ご本人は、久しぶりに教子と会い、演奏が聴けたことにとっても喜んでおられ、来場したほかのご入居者やスタッフ（計約90名）も、迫力のある生演奏に聞き入っていました。

サービス付き高齢者向け住宅 **ペガサスロイヤルリゾート**

入居者募集中!

施設見学や入居相談などお気軽にお問い合わせください。



問い合わせ先 072-265-9030(ペガサスロイヤルリゾート管理室)

地域連携

TOPICS **2** **ペガサスグループ 日米ジョイントフォーラム**

日本の医療は今後どうあるべきかを、米国の先進的事例から考える。

令和2年2月22日と23日、大阪と名古屋で〈日米ジョイントフォーラム2020〉が開かれました。本フォーラムは米国の有識者を招き、先進的な事例紹介を通じて日本のヘルスケアを考えるもの。社会医療研究所の岡田玲一郎先生が企画を行い、毎年開催されています。

今年のテーマは、「固定費払いの下での病院・施設経営～いかに低コストで高品質なケアを提供するか～」。限られた資源の中でどのように質の高い医療を継続していくかを、米国の事例を通じ考察する内容です。

今回、米国からは、医療・福祉領域に精通し



日米ジョイントフォーラムの様子



た弁護士と大学教授が来日。支払い方式の変化が米国医療に与えた影響や、民間医療保険を提供する大手米国企業の動きなどについてお話いただきました。また、日本からも、日本慢性期医療協会の武久洋三会長、矢野論副会長から、我が国の医療の課題や展望などについての講演があり、当法人理事長の馬場武彦も、医師の働き方改革の視点を交えながら、今後の地域医療について考える講演を行いました。

どの講演も非常に示唆に富むもので、大変充実した時間を過ごすことができました。

社会医療研究所の岡田玲一郎先生は、令和2年3月6日にご逝去されました。生前のご功績を偲び、謹んでお悔み申し上げます。